

第13回 オーケストラ・ムジカ・チェレステ演奏会 ～ラスト・コンサート～

感謝の気持ちを込めて贈るスペシャル・プログラム



ベートーヴェン
ピアノ協奏曲 第4番
ト長調 op.58 ピアノ：久末 航
Ludwig van Beethoven : Piano Concerto No.4 op.58

ラヴェル
組曲「クーブランの墓」
Maurice Ravel : Suite "Le Tombeau de Couperin"

メンデルスゾーン
交響曲 第4番 イ長調 op.90
「イタリア」
Felix Mendelssohn : Symphony No.4 "Italian" op.90

オーケストラ × 日野祭囃子

中村典子
綿向スピリトゥス
-日野祭囃子とともに- (2024年 世界初演)

共演：日野祭曳山囃子方交流会

《共同委嘱》公益財団法人日野町文化振興事業団
公益財団法人びわ湖芸術文化財団



公演当日のおたのしみ
(会場：ふれあいホール 事前申込不要)



指揮 篠崎靖男
Yasuo Shinozaki



ピアノ 久末 航
Wataru Hisasue



日野祭囃子
日野祭曳山囃子方交流会

■ 管弦楽：オーケストラ・ムジカ・チェレステ

2024. **7. 28** (日) 午後2時開演
〔1時30分開場〕

日野町町民会館わたむきホール虹 大ホール
〒529-1601 滋賀県蒲生郡日野町松尾1661 ☎ 0748-53-3233

【主催】公益財団法人日野町文化振興事業団 公益財団法人びわ湖芸術文化財団
【共催】株式会社しがぎん経済文化センター
【後援】日野町・日野町教育委員会 e-radio エフエム滋賀
【協力】日野曳山保存会 エラート音楽事務所

この事業は（公財）びわ湖芸術文化財団と（公財）日野町文化振興事業団との連携により開催いたします。

※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。



入場料金 一般3,800円・18歳以下2,000円
【全席指定・消費税10%税込】 ※6歳未満入場不可。

4月27日(土) 一般発売開始

プレイガイド

- わたむきホール虹 0748-53-3233
- しがぎん経済文化センター 077-526-0011 (平日9時30分～17時 窓口販売なし <https://www.keibun.co.jp> KEIBUN友の会優先受付 4/25(木))
- ローソンチケット (Lコード55407) <https://l-tike.com>
- 東近江地域勤労者互助会 ●(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター
- びわ湖ホールチケットセンター (10時～19時 火曜休 現金・窓口販売のみ)
- びわ湖芸術文化財団オンラインチケット (<https://www.biwako-arts.or.jp/rd>)

Orchestra Musica Celeste

オーケストラ・ムジカ・チェレステ

2000年のミレニアム・イヤーに誕生したオーケストラ・ムジカ・チェレステ。日野の音楽文化の一つとして愛されてきましたが、今回が最終回となりました。二年に一度、一流メンバーが集まって結成されるムジカ・チェレステが24年間も続いた事は日野の皆さまのお陰です。深く御礼を申し上げます。

このオーケストラが始まるきっかけは、「地方であっても、自分たちで最高級の音楽を演奏できるのが本当の文化だ」という私の欧米での音楽活動の経験であり、それは我々のポリシーともなりました。日野のオーケストラとして、小学校を訪問したり、中学生をリハーサルにご招待したり、地域の吹奏楽団の指導、ステージでの合唱団との共演など、地元日野としっかりと繋がりが続けれられてきたことが、今回、日野祭囃子との共演による、中村典子さんの日野祭をテーマにした新作の世界初演に結びついています。

このファイナル・コンサートのために、滋賀県出身の若手俊英ピアニスト・久末航さんがドイツから帰国して下さいます。

世界最難関コンクールとして知られるミュンヘン国際コンクールで第3位を受賞した久末さんが、ベートーヴェン・ピアノ協奏曲第4番を、わたむきホール虹「ウイーンのペーゼンドルファー製のグランド・ピアノ」でどのように弾かれるのかとても楽しみです。

後半は管弦楽の魔術師ともいわれるラヴェルの名作「クープランの墓」、そしてメンデルスゾーンの最高傑作 交響曲 第4番「イタリア」。どちらも楽しい曲目で、ムジカ・チェレステの集大成を締めくくります。

篠崎靖男

篠崎靖男 Yasuo Shinozaki (指揮)



京都に生まれ、滋賀で育つ。桐朋学園大学卒業。1993年ペドロッチェ国際指揮者コンクール最高位。ウィーン国立音楽大学で研鑽を積み、2000年シベリウス国際指揮者コンクールで第2位を受賞し、ヘルシンキ・フィルを指揮してヨーロッパにデビュー。01年より04年までロサンゼルス・フィルの副指揮者を務めた後ロンドンに本拠を移し、ロンドン・フィル、BBCフィル、フランクフルト放送響、ポーンマス響、フィンランド放送響、ドイツ・マクデブルク・フィル、南アフリカ共和国のKZN

フィル、ヨハネスブルグ・フィル、ケープタウン・フィルなど、日本国内はもとより各国の主要オーケストラを指揮。07年から14年7月に勇退するまで7年半、フィンランド・キュミ・シンフォニエッタの芸術監督・首席指揮者としてオーケストラの目覚ましい発展を支え、14年9月から18年3月まで静岡響のミュージック・アドバイザーと常任指揮者を務めるなど国内外で活躍を続けている。現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師（指揮専攻）として後進の指導にも当たっている。滋賀では第1回からこのオーケストラ・ムジカ・チェレステを指揮。11年から16年までびわ湖ホールで篠崎靖男プロデュース・オーケストラ・シリーズを開催し好評を博した。昨年秋には滋賀銀行創立90周年ガラ・コンサートを大成功に導き、今年12月には平和堂財団設立35周年記念ガラ・コンサートで指揮を執る。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasuoshinozaki.com/>

久末航 Wataru Hisasue (ピアノ)



現在、その将来が願望される新進気鋭の実力派ピアニスト。2017年、伝統と格式あるミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞して一躍国際的注目を集める。14歳にして受賞した青山音楽新人賞をはじめ、リヨン国際ピアノコンクール第1位および聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクール第1位および特別賞、青山音楽賞バロックザール賞など多数の受賞歴を誇る。天津市出身。5歳よりピアノを始める。平成25年度平和堂財団芸術奨励賞音楽部門受賞、同財団海外留学助成者。

2016年度滋賀県次世代文化賞受賞。2018/2019年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

辰巳晴生・美行、村上久仁子、田陽靖子各氏の指導を受け、滋賀県立膳所高等学校卒業後、渡独。フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて研鑽を積み、それぞれ最優秀の成績をもって修了。G.ミショリ、E.シュトロッセ、P.ドヴァイヨン、K.ヘルヴィヒ各氏に師事。

これまで、AUDI 音楽フェスティバル、ヴェルツブルグ音楽祭をはじめ、数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団、シュツットガルト室内管弦楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団などと共演。コンツェルトハウス・ベルリン、紀尾井ホールで開催されたリサイタルはどれも絶賛を博した。シャネル・ビグマリオン・デイズ 2019 アーティスト。21年には、CD「ザ・リサイタル」をリリースし、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。

現在、ベルリン在住。

日野祭曳山囃子方交流会 (日野祭囃子)

Hinomatsuri Hikiyama Hayashikata Kouryukai



日野祭囃子の技術向上・次世代への継承を目的に、2007(平成19年)6月、祭囃子が大好きなメンバーが集まって会を発足。現在、年間30ステージをこなし近畿地区内での演奏はもとより、東京での演奏活動も行う。

また、近江日野にゆかりのある福島県会津若松市の「落公行列」では、行列の先頭を飾るお囃子部隊として毎年参加し、日野町と会津若松市の架け橋的な活動を行っている。2022年滋賀県観光物産功労者表彰を受ける。

会員数は現在43名(男性37名、女性6名)。70代の年配から中学生まで幅広い年代層のお囃子大好き人間の集まりです。

只今、日野祭曳山行事の「国の重要無形民俗文化財」指定を目指し活動邁進中!

近江鉄道サイクルトレイン(土日祝日は終日自転車持込無料)を利用すると自転車で来館も可能!

⇒詳しくは近江鉄道HPにて

駐車場はわたむきホール虹および日野町役場をご利用ください。【路線バスのご案内】JR近江八幡駅南口より【北畑口】行き11:20発または12:20発(乗車時間約45分)【横町】下車徒歩約10分



0歳からのどうぶつ音楽会

どうぶつおんがくたい × 3C シーキューブ



動物をテーマにした重奏、民謡、ジャズ、古楽、現代音楽など

ちょっとおしゃれでカッコいいアレンジとダンスでお届けします！

泣いたり騒いだりしてもOK、一緒に踊ってOK、演奏中の出入り自由！

こどもから大人まで楽しめる1時間の濃くて短いプログラム★

日時 2024年

8月10日

13:00 開演
[12:15開場]

会場

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール
リハーサル室

滋賀県大津市打出浜15-1

Current
Creation
Composition

出演

どうぶつおんがくたい

ダンス—山本裕、船木こころ

うた—さとうじゅんこ

サクソフォン—榎川緑

鍵盤ハーモニカ—小出稚子

打楽器—高口かれん

ピアノ—木村菜津子

フルート—オズ本四重奏団

ヴァイオリン—亀井庸州

料金 500円(消費税10%税込) 2歳以下無料 定員 70人

お申込み 事前に申込フォーム(二次元コード)よりお申し込みください。
定員になり次第締め切ります。(申込受付:6月10日9:00~)

主催 — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀

後援 — 滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、守山市、守山市教育委員会

お問い合わせ — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 ☎077-523-7146

お申込み



このコンサートは、11月9日(土)に開催する「C³ vol.2 ～現代音楽と未来への《関》～」のプレイベントとして実施します。

楽器演奏だけでなく歌やダンスと盛りだくさんの「動物」がテーマのコンサートです！
劇場やホールに足を運びづらい子育て世代が安心して楽しめるよう、泣いたり騒いだりしてもOK、一緒に踊ってOK、演奏中の出入り自由、1時間の濃くて短いプログラム。
小さいお子様、初めて現代音楽を鑑賞する方、長時間の鑑賞が難しい方も大丈夫。
自由な音楽の楽しみかたをみんなでシェアしましょう。

「どうぶつおんがくたい」



国内外で活躍するプロフェッショナルな音楽家と振付家がタッグを組み、動物をテーマにした様々な音楽(現代音楽・童謡・古楽・クラシック音楽・民謡など)を世代に関係なく楽しめるコンサートを提供しているグループ。メンバー全員が欧州への留学経験を有し、高度な専門分野の研鑽を積むだけでなく、現地の非常に洗練された子どものための芸術作品に多数触れてきました。この経験を活かし「日本の子どもたちに向けた、質の高い新しい芸術作品の創作」と「子どもと芸術家がインタラクティブに関わりあう場の創造」を活動理念に掲げています。身近な存在である、「動物」をモチーフとした作品を中心とし、動物の様子を音楽とダンスで表現します。



びわ湖・アーティスト・みんぐら

どうぶつおんがくたい

×

C³シーキューブ

～0歳からのどうぶつ音楽会～

日時

2024年8月10日(土) 13:00開演[12:15開場]

料金 500円(消費税10%税込) 2歳以下無料 [要申込]

会場 滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール リハーサル室

滋賀県大津市打出浜15-1

アクセス

▶駐車場あり[210円/1時間]

◆JR琵琶湖線「大津駅」からバスで約5～7分、徒歩のみで約20分

◆JR琵琶湖線「膳所駅」から京阪電車と徒歩で約5分、徒歩のみで約15分



作曲 小出穂子 こいで・のりこ

第17回芥川作曲賞、第76回日本音楽コンクール作曲部門第2位と贈賞賞、2016年トヨタ国際音楽祭アジア作曲家ショーケース・ゲート賞など受賞多数。国内外から愛顧を受けており、2022年BBC Radio 3の愛顧による《揺籠と糸引き雨》がBBC交響楽団により初演され、23年7月には本国のBBC Promsにて英国初演。2023年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団の第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。また、プロの音楽家と振付家による子どものためのパフォーマンス・グループ「どうぶつおんがくたい」としても活動。題材に即した豊かな作曲スタイルや斬新なオーケストレーションにより、ユニークな作品を生み出し続けている。



ヴァイオリン 亀井庸州 かめい・りゅうしゅう

2000年ごろから主に同世代の作品初演を専門に活動を開始。東京音楽大学卒業後、ベルギー王立リエージュ音楽院において、欧州の20世紀の音楽や即興演奏を学んだ。帰国後も引き続き同世代の作品初演に携わり、個人企画のほか、東京オペラシティ音楽財団、サントリー芸術財団、みなとみらいホール等の主催公演に出演し、内外の作曲家による室内楽、ソロ作品の初演、再演を中心として活動している。作曲者本人との共同作業にて初演した作品は100曲を超える。また、尺八においても演奏活動を行っており、劇伴作品としてNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」などへの音源提供を行っている。ルリトラノオ弦楽四重奏団のヴァイオリン奏者。

本公演



vol.2

現代音楽と
未来への《関》

公演日 2024年11月9日(土) 14:00開演[13:30開場]

会場 スティーマー・ザール(滋賀県守山市勝部5-2-62)

曲目 シュニトケ ― 弦楽四重奏曲 第3番
三善晃 ― 弦楽四重奏曲 第1番
小出穂子 ― (公財)びわ湖芸術文化財団委嘱新作
[世界初演]
ヴァスクス ― 弦楽四重奏曲 第4番

出演 ルリトラノオ弦楽四重奏団
亀井庸州、松岡麻衣子(ヴァイオリン)、安田貴裕(ヴィオラ)、竹本聖子(チェロ)

本公演チケット 一般 3,000円 24歳以下 1,500円
(消費税10%税込) 全席自由 発売日 8月10日(土)

本公演チケット取り扱い

▶びわ湖ホールチケットセンター(窓口販売・現金のみ)

TEL.077-523-7136

(10:00～19:00 火曜日休館)

▶びわ湖芸術文化財団オンラインチケット

<https://biwako-arts.tstar.jp/>

詳細は
こちらから



びわ湖A・アーティスト・みんぐる2024

音楽と絵画でつづるおうみの民話 vol.1

日本一大きなみずうみ、びわ湖を有する近江は、日本のほぼ中心部に位置し、古くから多くの人が行き来してきました。この土地を通った人たちが美しい湖や、それをとりまく山々を題材に詩や歌を詠み、戦乱の世には、この地を舞台に天下の覇権をかけた武将たちの争いが繰り広げられました。“近江には一木一草一石にも伝説がある”といわれるほどの詩情豊かな風土のなかで、私たちの祖先が残してくれた数多くの民話の中から、今回は、伊吹山に伝わる巨人伝説「伊吹弥三郎」、長雨による伊吹山の崩壊から村人たちを救った姉妹の竜が主人公の「姉川と妹川」など湖北にまつわる5話を音楽と語り、そして絵画でご紹介します。

本事業では、県内各地で語り継がれてきた「民話」をテーマにホールを巡るコンサートを開催するだけでなく、民話の地域資源として魅力や教育的価値を踏まえてワークショップやライブペインティングを実施することで、地域の歴史や先人の教訓といったその地ならではの特色を掘り下げ、世代をつなぐ出会いと交流の場をつくりたいと願っています。

ワークショップ〈岩絵具に触れよう〉

日本美術に欠かせない画材、鉱石を砕いてつくられた“岩絵具”を実際に指で溶いて、ザラザラしたりキラキラした質感を楽しみながら、伊吹山に咲く花や植物を伸びやかな線で描いてみましょう。出来上がった作品はライブペインティング作品と一緒に展示します。



日時 8月3日(土)
10:30/13:30(約90分)

会場 伊吹葦草の里文化センター 工芸室

対象 小学生以上(10名×2回)

参加費 500円
(材料代を含む・当日受付にてお支払いください)

申込受付 7月13日(土)~

※お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。

申込をご希望の方は、
こちらのウェブサイトからお申込みください。▶



お問い合わせ

公益財団法人びわ湖芸術文化財団
法人本部 地域創造部

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1 びわ湖ホール内
TEL.077-523-7146 FAX.077-523-7147
https://biwako-arts.or.jp/rd/



TICKET チケット料金

7月27日(土) 発売開始

【本公演】

入場料 一般 2,000円
24歳以下 1,000円

【プレコンサート】

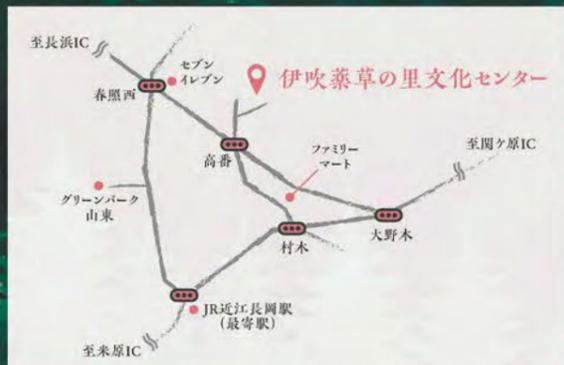
入場料 一般 1,000円
24歳以下 500円

※各公演とも全席自由、未就学児入場不可、消費税10%込

プレイガイド

- 伊吹葦草の里文化センター
TEL.0749-58-0105
- びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136(現金・窓口販売のみ)
10:00~19:00/火曜日休館
8/13~18は休館
- びわ湖芸術文化財団オンラインチケット
https://biwako-arts.or.jp/rd/
- 滋賀県立文化産業交流会館
TEL.0749-52-5111

アクセス



〒521-0314 滋賀県米原市春照 37番地
・JR「近江長岡駅」からバスで10分 ・北陸自動車道米原ICから車で20分

びわ湖A・アーティスト・みんぐる2024

音楽と絵画でつづる

おうみの民話

Vol.1

プレイベント 伊吹山と神のささやき

プレコンサート

2024年9月8日(日) 14:00開演(13:30開場) 伊吹葦草の里文化センター・ジョイホール
一般 1,000円、24歳以下 500円(全席自由)※未就学児入場不可

ライブペインティング

9月7日(土) 10:00~12:00/13:30~15:30
9月8日(日) 10:00~11:00/13:00~14:00/15:30~16:30
伊吹葦草の里文化センター ホワイエ

ワークショップ〈岩絵具に触れよう〉

8月3日(土) 10:30/13:30
伊吹葦草の里文化センター 工芸室
参加費:500円(材料代を含む)
対象:小学生以上(10名×2回) 申込:WEBサイト「申込フォーム」より
申込受付:7月13日(土)~先着順

本公演 伊吹山と神の息吹

2024年10月27日(日) 14:00開演(13:30開場) 伊吹葦草の里文化センター・ジョイホール
一般 2,000円、24歳以下 1,000円(全席自由)※未就学児入場不可

イベント 伊吹山と神のささやき

【ワークショップ】〈岩絵具に触れよう〉

日時 8月3日(土)
10:30/13:30(約90分)
参加費・詳細は裏面へ▶

【ライブペインティング】

日時 9月7日(土)
10:00~12:00/13:30~15:30
9月8日(日)
10:00~11:00(伊吹高校)
13:00~14:00/15:30~16:30
会場 伊吹薬草の里文化センター ホワイエ
料金 観覧無料

日本画家 西川礼華が伊吹の民話をテーマに、二曲一雙屏風(2m×4m)に絵を描き、滋賀県立伊吹高等学校書道部「墨人」が書を添える共同制作を行います。

日本画家 西川礼華 NISHIKAWA Ayaka



1988年滋賀県生まれ。2013年京都市立芸術大学美術研究科修士課程日本画専攻修了。植物や自然現象、造物が放つ美しさを融合させた絵画の世界を構築。2016年にはその活動が一層期待されるとして「滋賀県次世代文化賞」を受賞。2020年第一回千住博日本画大賞展入選(銀座三越伊勢丹/東京)。県内外で積極的に個展・グループ展を展開している。



【プレコンサート・プログラム】 2024年9月8日(日) 14:00開演

第一部 バロック
J.バッハ
「カンノン」
J.S.バッハ
「ああ、なんて美味しいの、コーヒーは!」
「そっと黙って、お喋りなさるな(コーヒーカンタータ)」BWV 211より
C.P.E.バッハ
ハンブルガー・ソナタト長調 Wotq133 ほか

第二部 民話
イザダになった娘 作曲:山下祐加
余呉の羽衣伝説 作曲:首藤健太郎



鈴木麻琴 ソプラノ SUZUKI Makoto

天津市出身。京都市立芸術大学音楽学部 声楽専攻卒業。第17回滋賀県新人演奏会出演。第6回豊中音楽コンクール第2位。2022年度平和堂財団芸術奨励賞(音楽部門)受賞。オペラ・オペレッタでは「アマルと夜の訪問者」アマル、「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「メリー・ウィドウ」ロロ、「こもり」アデーレで出演。これまでに、大谷由美子、折江忠道の各氏に師事。現在、三井ツヤ子、中嶋俊晴の各氏に師事。一般社団法人日本シューベルト協会会員。演奏グループ「toi to! toj」メンバー。α Musica音楽総合教室 声楽・ボーカル講師。



小林千晶 フルート KOBAYASHI Chiaki

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。卒業後フランス・パリ・エコール・ノルマル音楽院にて高等課程ディプロマを取得。びわ湖芸術文化財団より滋賀県芸術文化奨励賞を受賞。第21回滋賀県新人演奏会にて優秀賞を受賞。第1回東京国際フルートオーディションにて山野楽器特別賞ならびに坂上領特別賞を受賞。これまでにフルートを森川真衣、竹林秀憲、富久田治彦、大嶋義実、トーマ・プレヴォ、クロード・ルフェールの各氏、ピッコロをピエール・モンティ氏、室内楽を安藤史子、上田希の各氏に師事。現在関西を中心にフリーランスとして活動中。



榎山さやか ピアノ MOMIYAMA Sayaka

彦根市出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。第16回万里の長城杯国際音楽コンクールピアノ部門大学の部第2位。第17回滋賀県新人演奏会優秀賞受賞。第2回寝屋川市アルカスピアノコンクールデュオ1台4手部門グランプリ受賞。これまでに船橋美穂、野原みどりの各氏に師事。現在、演奏活動をしながら滋賀県にて後進の指導にあたる。滋賀県立石山高等学校音楽科非常勤講師。滋賀県立日野高等学校音楽部活動指導員。

近江には 伝説がある

揮毫 滋賀県立伊吹高等学校
書道部「墨人」

本公演 伊吹山と神の息吹 2024年10月27日(日) 14:00開演

【プログラム】

第一部 バロック
J.S.バッハ
「主よ人の望みの喜びよ」
『心と口と行いと生活で』BWV147
(Herz und Mund und Tat und Leben)より

G.テレマン
トリオ・ソナタ ハ長調 TWV42:C1「忠実な音楽の師」より
(Der getreue Music-Meister: Trio in C Major) ほか

第二部 民話

新作初演
伊吹弥三郎 作曲:首藤健太郎
狐にもらった財布 作曲:首藤健太郎
作詞:滋賀文学会 作詞部門 ほか

語り:源雅子(米原市在住) ソプラノ:鈴木麻琴



作曲家 首藤健太郎
SHUTO Kentaro

作編曲を中心に活動する音楽家。委嘱による合唱作品は多く、東京混声合唱団とのプロジェクトや「合唱祭はこの一冊で!」「キラキラ星で世界旅行!」、「ありがとう」等、カワイ出版やバナムシカ等で作品が出版されている。近年は、パソコン1台で自宅完結型のDTMCによるBGM製作に注力している。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修士課程音楽研究科作曲専攻修了。Jリーグスシンガーズのメインコンポーザーを務める。2017年度合唱組曲作品公募-第28回朝日作曲賞- 朝日賞受賞 など

チケット、プレイガイドは裏面へ▶

Les Baroquennes

レ・バロクェンヌ

京都市交響楽団の首席クラス奏者を中心に、フルート・オーボエ・コントラバス・チェンバロという他に類を見ない編成で、2016年より京都を拠点に活動し好評を博している。ユニット名は「バロック音楽を愛する女性たち」の意。



中川佳子 フルート
NAKAGAWA Yoshiko

1990年東京藝術大学入学。1992年第3回日本木管コンクール優勝。1993年安宅賞受賞。1994年同大学管打楽器最優秀成績を修め卒業後渡仏。数々のオーケストラとソリストとして協演するほか、師である佐久間由美子氏との共演はサンキョウフルート40周年ガラコンサートをはじめ絶賛を博している。アジアフルート連盟理事、京都市交響楽団副首席奏者。



高山郁子 オーボエ
TAKAYAMA Ikuko

大阪音楽大学卒業。卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院を最優秀で修了。大阪フィルハーモニー交響楽団を経て、2003年10月京都市交響楽団入団。2005年11月より首席奏者。大阪音楽大学、同志社女子大学非常勤講師。オーボエファイブメンバー。



石丸美佳 コントラバス
ISHIMARU Mika

12歳よりコントラバスを始める。京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。ベルリンに留学後、京都市交響楽団に入団。2012年より副首席奏者。エビビールが大好き♡



井幡万友美 チェンバロ
IBATA Mayumi

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業後、国際ロータリー財団奨学金及びUGS奨学金を受け、米国オハイオ州立シンシナティ大学音楽学部大学院コースに留学。1994年アーティストディプロマを取得。2012年ACUSTICARecords(ドイツ)より「J.S.Bach」をリリース。第13回大阪国際音楽コンクール古楽部門第1位及び特別賞。京都女子大学、大阪音楽大学講師。フランスシター奏者としても活動中。

主催 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
後援 滋賀県教育委員会、彦根市、彦根市教育委員会、長浜市、長浜市教育委員会、米原市、米原市教育委員会、e-radioエフエム滋賀
協力 滋賀県立伊吹高等学校 書道部「墨人」、滋賀文学会 作詞部門
第54回滋賀県芸術文化祭参加事業



びわ湖・アーティスト・みんぐる

“みんぐる”(mingle)とは交じり合うという意味で、さまざまな地域に出かけ、芸術(アート)を通して知と感性を刺激し合うような出会いや交流を生み出すことを狙いとするアートプロジェクトで、2021年から取り組んでいます。多彩な表現者に参加いただき、彼ら彼女たちが県内各地に根付いてきた文化や魅力的な出来事と邂逅する中で自らの芸術を追求し、滋賀の文化芸術に新しい風を吹き込むことで、次世代にも魅力ある地域づくりに寄与することを目的としています。

ホームページ <https://biwako-mingle.art/>

にんぎょうげき Puppet Festival 2024 人形劇がはじまるよ!

9/29日 長浜文化芸術会館

大ホール 13:30開場 14:00開演

人形劇団 **むすび座**

原作/Lyman Frank Baum

オズのまほうつかい

100年以上もの間愛され続けるお話が人形劇に!! (厚生労働省社会保障審議会 特別推薦作品)

ねがいを

かなえる

ぼうげんの旅へ



ドロシーはある日、家ごと竜巻に巻き上げられて飼犬のトトと一緒にオズの国にやってきます。そこで出会った3にんの友だち“かかし、プリキ、ライオン”。4にんとトトは、どんな願いもかなえてくれる「偉大なオズの魔法使い」に会うために旅に出ます。カカシは脳みそ!プリキは心!ライオンは勇気!をもらうため。ドロシーは我が家に戻るために…。

全席指定

一般 2,800円 24歳以下 2,000円

(消費税10%込) ※3歳以下無料(座席が必要な場合は有料)

チケット発売日
7/6日 10:00~

プレイガイド

長浜文化芸術会館、浅井文化ホール、木之本スティックホール
びわ湖ホールチケットセンター(10時~19時 火曜日および8/13~18休館、現金・窓口販売のみ)
ローンチケット(Lコード:51669)
teket(電子チケット)、楽天チケット



[teket]

同日開催

展示室1

おはなし会

参加費無料

~ゆったりと…物語の世界へ~

1 11:00~ 2 12:00~ 3 13:00~

展示室2

地元人形劇グループによる公演

入場料

3歳以上 ~身近に人形たちの息づかいをお楽しみください~
500円 (消費税10%込/自由席) 出演/人形劇団ふくふく

1 11:30~ (15分前開場) 「三びきのこぶた」
2 12:30~ (15分前開場) 「へっこきよめご」

要申込
7/6日~

[申込QR]



展示ロビー

えほんのひろば

参加費無料

すら~り表紙を見せた
100冊の絵本がお出迎え!
好きな本に出会えるかな

10:30~14:00

練習室1,2

工作コーナー

参加費無料

~人形づくりや思い出づくりに...~

10:30~14:00
ドロシー、カカシ、プリキ、
ライオンを作ってみよう!
※汚れても良い服装でお越しください。必ず保護者の方と一緒にご利用ください。

会場前広場

キッチンカー 出店



びわ湖・アーティスト・みんぐる

「Ylang Ylang」に基づく「変奏

シーキューブ×
現代音楽研究会 club MoCo

3
Current
Creation
Composition
シーキューブ



club MoCo
kyoto city university of arts

日時 2024年

10月13日

15:00開演
(14:30開場)

曲目

G・ピエルネ 民謡風ロンドの主題による序奏と変奏

酒井 健治 メロディア・ラビール

A・シュニトケ Stille Nacht

小出 稚子 Ylang Ylang

「Ylang Ylang」に基づく京都市立芸術大学作曲専攻による変奏 ミニアチュール（世界初演）
I (Vn. duo) II (Vn., Vla.) III (Vn., Va., Vc.) IV (String quartet) V (Vn. solo)

G・フォーレ ピアノ五重奏曲第二番ハ短調 第一楽章

出演

京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

ヴァイオリン 田中 志和、穴井 智尋

ヴィオラ 石井 悠紀子

チェロ 塚本 ひらき

ピアノ 二俣 菜月、飯田華怜

サクソス 上原 心、阪井 愛華、北田 美結、森田 元、中山 祐哉

監修：酒井健治（作曲家）

会場

スティマー・ザール

(滋賀県守山市勝部5-2-62)

料金

無料（事前申し込みが必要です）

全席自由（未就学児入場不可）

こちらの二次元コードより
事前にお申込みください



主催 公益財団法人びわ湖芸術文化財団
京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo
文化・経済フォーラム滋賀

協力 スティマー・ザール

お問い合わせ 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 ☎077-523-7146

このコンサートは、11月9日（土）に開催する「C³vol.2～現代音楽と未来への《関》」のイベントとして実施します。



小出稚子 作曲家

第17回芥川作曲賞、第76回日本音楽コンクール作曲部門第2位と聴衆賞、2016年トンヨン国際音楽祭アジア作曲家ショーケース・ゲータ賞など受賞多数。国内外から委嘱を受けており、2022年BBC Radio 3の委嘱による《揺籠と糸引き雨》がBBC交響楽団により初演され、23年7月には本国のBBC Promsにて英国初演。2023年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団の第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。また、プロの音楽家と振付師による子どものためのパフォーマンス・グループ「どうぶつおんがくたい」としても活動。題材に即した柔軟な作曲スタイルや斬新なオーケストレーションにより、ユニークな作品を生み出し続けている。



酒井健治 作曲家

大阪府出身。京都市立芸術大学卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院を最優秀で卒業し、Ircam（フランス国立音響音楽研究所）にて研究員を務める。作品はリヨン国立管、ルツェルン響、N響、読売日響、レ・ヴァン・フランセなどによって世界初演されている。武満徹作曲賞第一位、エリザベト王妃国際音楽コンクール大賞、文化庁長官表彰（国際芸術部門）、芥川作曲賞、ローマ賞、青山音楽賞「青山賞」など受賞多数。また名古屋フィルハーモニー交響楽団コンポーザー・イン・レジデンス、オーケストラ・アンサンブル金沢コンポーザー・オブ・ザ・イヤーを歴任し、現在京都市立芸術大学准教授。同大学現代音楽研究会 club MoCo顧問を務める。

びわ湖・アーティスト・みんぐる
シーキューブ
C³ X club MoCo
京都市立芸術大学現代音楽研究会

「Ylang Ylang」に基づく変奏

日時 **10月13日** 日曜日

15:00 開演 (14:30開場)

昨年好評を博したC³ X club MoCoが今年もプレコンサートを開催します。メインコンサートで弦楽四重奏曲を発表される小出稚子さんの「Ylang Ylang」に基づき、club MoCoの作曲専攻の学生達による小品集が世界初演。その他にもサクソフォン四重奏やピアノ五重奏など、色鮮やかなプログラムをお届け致します。

会場 **スティーマー・ザール**

(滋賀県守山市勝部5-2-62)

アクセス JR守山駅西口より徒歩5分(300m)
全席自由席はございません。
近隣のコインパーキングをご利用ください。

料金 **無料** (事前に申込みが必要です)

全席自由 (未就学児入場不可)

申込み Webサイトの申し込みフォームから
事前にお申し込みください。



club MoCo
kyoto city university of arts

京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo

現代音楽の普及の一翼を担うべく、
学生主体の団体としてのパイオニアとなる。

We will be a pioneer as a student-led organization
to play a role in the spread of modernism
and contemporary music.



2021年、京都市立芸術大学で現代音楽に興味のある学生が集って結成された大学公認クラブ。50名を超える部員が所属しており、「現代音楽の普及の一翼を担うべく、学生主体の団体としてのパイオニアとなる」という目標のもと、現代音楽の演奏や研究に努めている。顧問には本学で教鞭を執る作曲家の酒井健治氏を迎え、定期演奏会を開催。学内外を問わず精力的に活動を展開している。

本公演

3
Current
Creation
Composition
vol.2

現代音楽と
未来への《関》

公演日 2024年11月9日（土）14:00開演【13:30開場】

会場 スティーマー・ザール（滋賀県守山市勝部5-2-62）

曲目 シュニトケ 弦楽四重奏曲 第3番
三善晃 弦楽四重奏曲 第1番
小出稚子 弦楽四重奏曲「柗」
(公財)びわ湖芸術文化財団委嘱新作 [世界初演]
ヴァスクス 弦楽四重奏曲 第4番

出演 ルリトラノオ弦楽四重奏団
亀井庸州、松岡麻衣子(ヴァイオリン)、安田貴裕(ヴィオラ)、竹本聖子(チェロ)

本公演チケット

一般 3,000円 24歳以下 1,500円
全席自由 (消費税10%込)

本公演チケット取り扱い

びわ湖ホールチケットセンター (窓口販売、現金のみ)
☎077-523-7136 (10:00~19:00 火曜日休館、8/13~18は休館)
びわ湖芸術文化財団オンラインチケット
<https://biwako-arts.tstar.jp/>
ローソンチケット Lコード55508



お申し込み
詳細は
こちらから

令和6年度 滋賀県アートコラボレーション事業
第54回滋賀県芸術文化祭参加事業

「まちを元気にする」プロジェクト

MAIBARA 2024 OBACHANS' COLLECTION

～おしゃれも生き方もチャームングに～

55歳以上の女性が主役のファッションショー。
大切な思い出が詰まった洋服を学生たちが「リデザイン」。
子どもたちと一緒にランウェイを歩きます。
今、米原の女性たちが輝く。

over 55

楽しく年齢を重ねた方たちの
ファッションショーを開きます



中尾ミエトークショー
「人生ももっと楽しまなくちゃ」



米原市在住
田中かなたちちゃん
(5歳)

米原市在住
松井幸子さん
(81歳)

*Make your
dreams come true*

10/20 sun.

open: 13:30 start: 14:00 【前売券】 ¥1,500 【当日券】 ¥2,000 (全席指定 / 消費税10%込)

【会場】 米原市伊吹薬草の里文化センター / ジョイホール (〒521-0314 米原市春照37 / TEL: 0749-58-0105) 【チケット発売日】 令和6年8月11日(日)

【プレイガイド】 ●伊吹薬草の里文化センター / 窓口受付 9:00～ / 電話受付 10:00～ ●ローソンチケット / Lコード51701 ※お一人様4枚まで

【主催】 (公財)びわ湖芸術文化財団 / (公財)伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 【協力】 滋賀県立大学 人間文化学部 生活デザイン学科 轟下あおい研究室 / Halo harmony (米原市)

※ この事業は(公財)びわ湖芸術文化財団と(公財)伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団が協働して実施しています。



vol.2 現代音楽と未来への《関^{かん}》

弦楽四重奏 × 現代音楽

わたしたちはどこから来て、どこに行こうとしているのか

小出稚子が今回のコンサートのために三上山(近江富士)を登山して書き上げた委嘱作品、21世紀を目前にした1999年に20世紀が歩んだ歴史に想いを馳せて書かれ、初演のクロノス・クアルテットをグラミー賞最優秀室内楽パフォーマンス賞ノミネートに導いたヴァスクスの弦楽四重奏曲第4番など、作曲家が描いた自由と未来を弦楽四重奏でお贈りします。

曲目

アルフレッド・シュニトケ — 弦楽四重奏曲第3番

三善晃 — 弦楽四重奏曲第1番

小出稚子 — 弦楽四重奏曲「栖」
公益財団法人びわ湖芸術文化財団
委嘱新作・世界初演

ペトリス・ヴァスクス — 弦楽四重奏曲第4番

出演

ルイトラノオ弦楽四重奏団

亀井廣州 ヴァイオリン

松岡麻衣子 ヴァイオリン

安田貴裕 ヴァイオリン

竹本聖子 ヴェーロ

チケット 一般 3,000円 | 24歳以下 1,500円 (消費税10%込)
全席自由 [発売日:8月10日(土)]

チケット ▶ びわ湖ホールチケットセンター(窓口販売、現金のみ)
取り扱い (10:00~19:00 火曜日休館、休日の場合は翌日 8/13~18は休館) TEL.077-523-7136
▶ びわ湖芸術文化財団オンラインチケット <https://biwako-arts.tstar.jp/>
▶ ローソンチケット Lコード 55508

主催 — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団、文化・経済フォーラム滋賀
協力 — スティマー・ガール、どうぶつおんがくたい、東海市立芸術大学現代音楽研究会club MoCo
後援 — 滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、守山市、守山市教育委員会

お問い合わせ — 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1 ☎ 077-523-7146

このコンサートは、サントリー芸術財団佐治敬三賞鑑賞コンサートです。
第54回滋賀県芸術文化祭参加事業

公演詳細



日時
2024 11 / 9 (土) 14:00 開演
[13:30 開場]

会場
スティマー・ガール 滋賀県守山市
勝部5-2-62



小出 稚子 KOIDE Naoiko



亀井 庸州 KAMEI Yoshu



松岡 麻衣子 MATSUOKA Maiko



安田 貴裕 YASUDA Takahiro



竹本 聖子 TAKEMOTO Seiko

現代音楽×弦楽四重奏

の切り口で新しい表現に挑戦するコンサート・シリーズ。毎回、現代音楽界をけん引する旬の作曲家が、近江・滋賀をテーマにした新曲を発表。近江は古来から東西の地域を結ぶ交通の要衝。副題の《関(かん)》は、関所、入り口のこと、道のりを歩いていく過程で様々な関門を通過した先に開かれる音楽をイメージしてお贈りします。そして、本企画のために結成した現代音楽のスペシャリストで構成するルリトラノオ弦楽四重奏団が、レジデント・アーティストとして現代音楽と近江・滋賀をつなぎます。

びわ湖・アーティスト・みんぐる

2024年11月9日(土)

14:00 開演 / 13:30 開場

C³ シーキューブ vol.2

現代音楽と未来への《関》



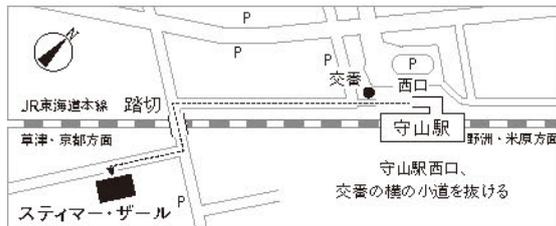
vol.2のテーマは、「現代音楽と未来への《関》」。わたしたちはどこから来て、どこに行こうとしているのか。それを問いかけ、時として答えを与えてくれるのが、先人が残してきたもの。今回の委嘱曲の題材は、近江富士と呼ばれる三上山。7000万年前の火山活動で形成された巨大カルデラの名残で、長い時間が作り上げた美しい山容は信仰の対象となり、その影響を受けながら営まれてきた人々の暮らしが今も息づいています。* 作曲家の小出稚子氏には、実際に三上山を登山し、身体全体で作曲の資料を収集いただきました。

また、会場のスティマー・ザールは、楽器の響きを追求したオーナーが、楽器の内部に聴衆と奏者がいるような状況が理想と考え設計された空間。人々が歩んだ歴史と独特の世界観で描かれる未来を、弦楽四重奏曲と調律された空間でお楽しみください。

* 永田有夏志、湖東「巨大カルデラの名残」を歩く〜特集「湖国のトレイルー山の過去・現在・未来を歩く」より、「湖国と文化」187号

会場 スティマー・ザール
滋賀県守山市勝部5-2-62

アクセス JR守山駅西口より徒歩5分(300m)
会場駐車場はございません。
近隣のコインパーキングをご利用ください。



プレコンサート 京都市立芸術大学現代音楽研究会 club MoCo × C³ ~「Ylang Ylang」に基づく変奏~

公演日 2024年10月13日(日) 15:00開演(14:30開場)

会場 スティマー・ザール(滋賀県守山市勝部5-2-62) 料金 無料

出演 京都市立芸術大学現代音楽研究会club MoCo

曲目 G.ビエルネ 民謡風ロンドの主題による序奏と変奏 / 酒井健治 メロディア・ラビーレ / A.シュニトケ Stille Nacht / 小出稚子 Ylang Ylang / 「Ylang Ylang」に基づく京都市立芸術大学作曲専攻生によるミニアチュール(世界初演) / G.フォーレ ピアノ五重奏曲第2番ハ短調(第一楽章のみ)

詳細は
こちらから



小出 稚子 〈作曲〉こいでのりこ

第17回赤川作曲賞、第76回日本音楽コンクール作曲部門第2位と聴衆賞、2016年トシヨ国際音楽祭アジア作曲家ジョーケース・ゲート賞など受賞多数。国内外から委嘱を受けており、2022年BBC Radio 3の委嘱による《狂騒と糸引き雨》がBBC交響楽団により初演され、23年7月には本国のBBC Promsにて英国初演。2023年4月、名古屋フィルハーモニー交響楽団の第4代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。また、プロの音楽家と振付家による子どものためのパフォーマンス・グループ「どうぶつおんがくたい」としても活動。題材に即した柔軟な作曲スタイルや斬新なオーケストレーション、細やかな音形や特殊奏法などによって造られる音響のテクスチャと色彩が、小出の作風を特徴づけている。

ルリトラノオ弦楽四重奏団

本企画のレジデント・アーティストとして現代音楽のスペシャリストにより結成。ルリトラノオは、滋賀県米原市の伊吹山山頂にのみ自生する瑠璃色をした虎の尾に似た花の名で、花言葉は「常に微笑みを持って」

亀井庸州 〈ヴァイオリン〉かめい ようしゅう

2000年ごろから主に同世代の作品初演を専門に活動を開始。東京音楽大学卒業後、ベルギー王立リージュ音楽院において、欧州の20世紀の音楽や即興演奏を学んだ。帰国後も引き続き同世代の作品初演に携わり、個人企画のほか、東京オペラシティ音楽財団、サントリー芸術財団、みなとみらいホール等の主催公演に出演し、内外の作曲家による室内楽、ソロ作品の初演、再演を中心として活動している。作曲家本人との共同作業にて初演した作品は100曲を超える。また、尺八においても演奏活動を行っており、劇伴作品としてNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」などへの音源提供を行なっている。

松岡麻衣子 〈ヴァイオリン〉まつおか まいこ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。IEMA(フランクフルト音楽・舞台芸術大学)にて研鑽を積む。アンサンブル・リネア、アンサンブル・モデルン等の現代音楽演奏団体で、世界各地の現代音楽祭やコンサートに出演。日本現代音楽協会主催・演奏コンクール「競奏X」第2位。近現代作品の演奏を主軸に、17年結成のフィディアス・トリオ(クラリネット・ヴァイオリン・ピアノ)での活動、他ジャンルのアーティストのコラボレーションも意欲的に行っている。

安田貴裕 〈ヴィオラ〉やすだ たかひろ

東京音楽大学入学後、奨学金を得て州立フロリダ国際大学に入学。帰国後、同時代の作曲家と共に歩むことを主眼に活動を行ない、川上統氏作曲/ヴィオラと管弦楽のための「Cybele」の独奏ヴィオラなどをはじめ、40を上回る作品の初演に携わる。東京オペラシティ主催「コンポージアム」シリーズ、サントリーホール主催のポリニー・パースペクティヴなどにも多く出演している。これまでに川島正雄、三戸泰雄、山口裕之の各氏に師事。

竹本聖子 〈チェロ〉たけもと・せいこ

福岡県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。学生時代から作品発表に数多く参加。能音楽家 青木涼子による能と現代音楽を掛け合わせたプロジェクトに参加、兼善寺で奉納演奏を行う。川上統の組曲「甲斐」のCD録音及び世界初演、ゼミノン・ダリルによる「河原原」他シリーズ、桑原ゆうの無伴奏作品「遠慮が時のうた」改訂世界初演など、ジャンルの垣根を越えた演奏活動を送っている。「炭産」メンバー、「オーケストラ・トリプティック」首席奏者。

Jingle and Mingle アートで滋賀をもっとたのしく!

「アートと地域のための



スモールトーク・プロジェクト」

クリスマスパーティー

日時: 令和6年12月25日(水) 13:30~15:35 滋賀県内の事例発表 15:40~17:00 パーティー

会場: 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 研修室 (〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1)

クリスマスの日、びわ湖ホールでアートと地域を盛り上げるパーティーをひらきます!

アートの見方で、日々の暮らしをもっと楽しくできるんじゃないか、と思っている方。

アートを通じて、その人らしさを尊重しながら、人と出会いたい方。

アートって何ができるの? と疑問に思っている方。

そんなみなさんと集まり、アイデアの種・プロジェクトの種を育てたいと考えています。



アートでなにかをはじめてみたいあなた、ぜひご参加ください!

[第一部] 滋賀県内の事例発表 13:30~15:35

文化ホールの事例を中心に、県内のプラットフォームについて語ります。

文化ホールに行けば新しい人と出会えて、楽しいことが巻き起こるかも!

そんな期待に満ちた未来について、3つの事例を紹介しつつ、おしゃべりします。

参加無料

① 米原市伊吹薬草の里文化センター「まちを元気にする」プロジェクト

登壇者: 清水啓子(伊吹薬草の里文化センター) × ワタナベユカリ(株式会社仕立屋と職人)

55歳以上の女性たちの「着られないけど捨てられない」思い出の服を若手デザイナーがリデザイン。自身がモデルとなり、ショーを開催! まちの女性たちが輝く瞬間を多世代が応援しました。

② 旧大津公会堂 プロジェクト計画発表

登壇者: 岩原勇氣 × 長砂伸也 × 中川佑希(旧大津公会堂・特定非営利活動法人 BRAH=art.)

「街は元々、彩に満ちている」というテーマで、日々の暮らしとアートの出会うポイントをゆるやかに広げていくプロジェクトを実施予定です。

③ 愛荘町立ハーティーセンター秦荘 プロジェクト計画発表

登壇者: 林 定信(一般社団法人愛荘町文化協会) × ジャクリーン・エリオット × 柳田リープス安代(NPO法人コレジオ・サンタナ)

外国人町民が多い愛荘町では言語や文化、習慣の違いを越えて外国人や障害者、高齢者など多くの人が使いやすいホールづくりをテーマにプロジェクトを実施予定です。

④ クロストーク

登壇者: 池田佳穂(インディペンデントキュレーター) × 熊井一記(劇場、音楽堂等連絡協議会事務局長) × 江藤慎介(アルパック株式会社 地域計画建築研究所)

それぞれの専門の視点から、3つの事業を掘り下げつつ、文化拠点×アートと地域のつなぎ手の可能性を探ります。

詳細はこちら



[第二部] パーティー 15:40~17:00

飲み物とお菓子を片手に、

「これからどんなことをしてみたいか」、「どんなことに興味があるか」語りあいましょう。

参加費: 500円(飲食代込)

主催: 公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部 お問い合わせ: 077-523-7146 〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15-1

第54回滋賀県芸術文化祭参加事業

◆「アートと地域のためのスモールトーク・プロジェクト」とは

(公財)びわ湖芸術文化財団地域創造部は、誰もが文化芸術に触れ、参加する機会を得られるよう、文化ホールやアートNPO、アーティストなどと協働で、地域の多様な文化芸術創造活動に取り組んでいます。

本事業は、令和6年度・7年度の2年に渡り劇場・文化ホールを拠点とし、地域とアートのつなぎ手人材“おうみアートコーディネーター”の活躍についてリサーチを行います。また、旧大津公会堂と愛荘町立ハーディーセンターを拠点とし、パイロット事業を行うことで地域コミュニティの拠点としての劇場・文化ホールの可能性を探ります。

◆ こんな方に オススメ

- ・ 滋賀をフィールドとして活動したいアーティスト、アートマネージャー
- ・ まちづくりやコミュニティ、場をつくることに関心がある方
- ・ アート、アーティストとの出会いで、新しい地域の魅力を見つけたい方
- ・ 人と出会い、多分野からの刺激を受けたい方

◆ 登壇者プロフィール

清水啓子(伊吹葉草の里文化センター)

(公財)伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 事務局次長。会計業務を担当しながら、企画の仕事にも携わり、イベント・生涯学習講座などの事業企画を提案、実行。地域の人に笑顔が届けられるよう、「学びのとびら」と題して市民のみなさまの学びを応援するための冊子をつくっています。

ワタナベユカリ(株式会社仕立屋と職人)

埼玉県出身。2017年、東京から長浜市に移住。移住後、長浜のシルク産業に関わるプロジェクトに参画。2023年よりタンスに眼する着物を受け継ぐシャツブランド【シャナリシャツ】をスタート。

池田佳穂(インディペンデントキュレーター)

2016年より東・東南アジアを中心に、土着文化や社会情勢から発展したコレクティブとDIYカルチャーの調査を独自に始める。主にインドネシア各地で展覧会やワークショップ等を現地作家と共同開催した。展覧会・パフォーマンス・教育プログラムなどを複合した横断的なキュレーションに関心をもつ。

熊井一記

(劇場、音楽堂等連絡協議会事務局長)

(公財)神戸市民文化振興財団事業部長。劇団四季を経て、KAAT神奈川芸術劇場の開館準備や調査研究・インクルーシブ事業、神戸文化ホールの事業プロデューサー等を経験。全国約70館の創造型劇場の連絡会「劇場、音楽堂等連絡協議会」の事務局長。令和5年度文化・経済フォーラム滋賀の提言研究事業コーディネーター。

江藤慎介

(アルパック株式会社 地域計画建築研究所)

国や地方自治体をはじめ、商工会議所や商店街等の地域組織、中小企業グループからの地域振興と組織戦略に関わる相談や依頼を中心に、各種調査、計画策定、事業化支援等のプロジェクトに取り組む。文化政策や条例への立案に関わる事例多数。

◆ 会場

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 研修室

(滋賀県大津市打出浜15-1)

◆ アクセス

京阪電車石山坂本線
「石場駅」から徒歩約3分
JR「膳所駅」から徒歩約15分

岩原勇気(特定非営利活動法人 BRAH=art.)

社会福祉法人びわこ学園にて、重度の障がいがある人たちと関わる仕事に10年以上従事。2014年「障がいがあるうとなかろうと好きなこと得意なことを仕事にして精一杯生きる」をテーマに、NPO法人BRAH=art.を設立。障がい福祉事業所のほかに、シェアハウス、カフェギャラリー、ゲストハウスを運営。障がいがあるひとが支援される側ではなく、地域を支援する側にまわろうと、仲間と共にまちづくりに参画。朝市やまちづくり団体の運営に携わり、人・事・物をつなぐ存在として事業を展開している。2023年4月より旧大津公会堂指定管理者。

長砂伸也

群馬県出身。立命館大学国際関係学部卒。社会教育士。湖南省市石部で私設公民館mame Co-を設立。2023年度に素人による表現活動「石部芸術祭」を開催(「滋賀をみんなの美術館に」補助事業)。旧大津公会堂でも勤務中。

中川佑希

中川すてむ 共同代表。全国障害者スポーツ大会出場。2010年から大津市内で自立生活を開始。学校、公民館、福祉事業所などで講演活動を行う。旧大津公会堂で勤務をしながら、また、体験喜劇や漫才なども行っている。

林 定信

((一社)愛荘町文化協会事務局長)

愛荘町などにおいて、埋蔵文化財の調査、文化財の保護、遺跡整備、地域文化遺産の掘り起こし、歴史的建造物の保存・活用あるいはそれらを活かしたまちづくりに取り組む。

ジャクリーン・エリオット

米国ミシガン州出身。奈良や神戸で29年間過ごし、愛荘町に来て11年。30年間、米国の高校や神戸のint.で芸術を教える。愛荘町の人々、景観あるいは歴史文化が大変気に入っている。現在は英会話やヨガを地元の人々に教えつつ、ガーデニング、パッチワークや水彩画などを楽しんでいる。熱烈なサイクリストでもあり、どこへも自転車で行く。

柳田リーブス安代

(NPO法人コレジオ・サンタナ理事) (愛荘町国際交流協会(AIFA)広報部会長)

国際交流こども絵画展「ARTで知ろうつながろうブラジルと日本」を2020年から毎年愛知川びんてまりの館で開催。ブラジル学校サンタナ学園の支援を中心に講演や国際交流・多文化共生事業に取り組む。

◆ 申込期間 令和6年10月2日(水)～

◆ 申込方法

<https://biwako-arts.or.jp/rd/about/34504.html>に必要事項をご記入の上、お申込みください。

◆ 定員 30名

先着順



おうみ
狂言
鑑
2025

作・旭堂南湖
演出・茂山童司

近江鉄道 珍道中

2025年新作狂言



各公演終了後、
新作狂言「近江鉄道珍道中」
作者・旭堂南湖氏を迎えて
アフタートークを開催!

1 2025年
1月26日(日) 午後2時開演
(午後1時15分開場)

東近江市てんびんの里
文化学習センター

〒529-1421 東近江市五個荘竜田町583
TEL:0748-48-7100

演目 古典:膏藥煉、腰祈 新作:近江鉄道珍道中

<https://higashioni-j.com/tenbinnosato/index.html> 全席指定

2 2025年
2月16日(日) 午後2時開演
(午後1時15分開場)

甲賀市
あいこうか市民ホール

〒528-0005 甲賀市水口町水口5633
TEL:0748-62-2626

演目 古典:柿山伏、附子 新作:近江鉄道珍道中

<https://www.city.koka.lg.jp/2217.htm> 全席自由

3 2025年
3月22日(土) 午後2時開演
(午後1時15分開場)

日野町町民会館
わたむきホール虹

〒529-1601 蒲生郡日野町松尾1661
TEL:0748-53-3233

演目 古典:佐渡狐、千鳥 新作:近江鉄道珍道中

<https://www.rmc.ne.jp/watamukihall/> 全席自由

全会場にてご当地名物の販売あります!
各公演開催地エリアのあの商品、この品。
滋賀の銘品をお土産にどうぞ!!

入場料(消費税10%込)

一般 : 2,500円
青少年(24歳以下): 1,000円

チケット発売日 11月16日(土)

※当日券500円増。ただし、他会場の
チケット・半券提示で当日券を
前売料金が販売。6歳以上入場可。

チケット
お求め先

全公演取り扱い

ローソンチケット(Lコード 54224)

びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ)

① てんびんの里文化学習センター、東近江地域勤労者互助会(会員のみ)

② オンラインチケットサービス <https://p-ticket.jp/yokaichi-bungei>

③ 甲賀市あいこうか市民ホール、

(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター(会員のみ)

わたむきホール虹、東近江地域勤労者互助会(会員のみ)、

(一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター(会員のみ)

出演:茂山千五郎家 各演目の出演者はWEB等でご確認ください。

2025年
新作
狂言

おうみてつどう ちんどうちゆう 近江鉄道珍道中

全公演共通演目

作：旭堂南湖 演出：茂山童司
出演：茂山千五郎、茂山 茂



プロ野球日本シリーズが京セラドーム大阪で行われることになった。東京に住んでいる大会社の会長と秘書。晶眞球団を応援するため、新幹線に飛び乗った。どういうわけか、滋賀県で途中下車!?秘書がいうには「近江鉄道に乗ればいい」。着いた駅が……。ひよんなことから近江鉄道に乗って観光する二人。さてさて、どんな珍道中になるのでしょうか。



旭堂南湖(きょくどう・なんこ)

講談師。1973年生まれ。滋賀県甲賀市甲南町出身。水口東高校卒業後、大阪芸術大学入学。大阪芸術大学大学院修士課程修了。1999年、三代目旭堂南波に入門。2002年、大阪舞台芸術新人賞受賞。2010年、文化庁芸術祭新人賞受賞。2021年、滋賀県文化奨励賞受賞。著書「滋賀怪談 近江奇譚」(竹書房怪談文庫)。

狂言とは?

猿楽を起源とするセリフ劇で、一般庶民のちょっとした失敗話などをユーモラスに描いた喜劇です。昔は、今のコントのようなものだったのでしょ。『むずかしそう』と先入観を持たずに、一度ご覧いただければきっと楽しんでいただけたと思います。

-おうみ狂言図鑑-

2011年から茂山千五郎家の協力を得て、滋賀県を題材にした新作狂言を制作し、現在までに13の新作狂言が生まれています。これらの作品を「おうみ狂言図鑑」としてコレクションし、滋賀県だけでなく全国でも広く上演されることで、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信し、みなさんに親しまれていくことを目指します。

古典作品

① 1月26日(日) 東近江市てんびんの里文化学習センター

アフタートーク：茂山千之丞×旭堂南湖



膏薬煉

鎌倉と都の膏薬煉の腕比べ

都の膏薬煉：茂山逸平
鎌倉の膏薬煉：茂山千之丞



腰祈

呪力効きすぎにつき要注意!

祖父：茂山あきら 山伏：茂山虎真
太郎冠者：島田洋海

② 2月16日(日) 甲賀市あいこうか市民ホール

アフタートーク：茂山茂×旭堂南湖



柿山伏

悪さをするのは猿?鳥?空を飛べる…山伏?

山伏：茂山竜正
畑主：茂山あきら



附子

見るなと言われたら見なくなるのが人情

太郎冠者：茂山宗彦 主人：増田浩紀
次郎冠者：茂山千之丞

③ 3月22日(土) 日野町町民会館わたむきホール虹

アフタートーク：茂山千五郎×旭堂南湖



佐渡狐

贈収賄をめぐるドタバタ劇!

佐渡のお百姓：茂山茂
越後のお百姓：茂山千五郎
お賽者：茂山七五三



千鳥

ツケがあつてはお酒は譲れぬ。さて、芸は身を助く…?!

太郎冠者：茂山千之丞 主人：茂山鳳仁
酒屋：茂山あきら



茂山千五郎



茂山七五三



茂山あきら



茂山茂



茂山宗彦



茂山逸平



茂山千之丞



茂山竜正



茂山虎真



茂山鳳仁



島田洋海



増田浩紀

2025年
文化・経済
フォーラム滋賀
講演会

幸せの 近道

～チベット人の私が
日本で暮らして思うこと～

参加無料
全席自由
要事前申込

講師

歌手

バイマーヤンジン さん

日時 2025年

2月24日(月・休)

14:00開演(13:30開場)

前日までにお申し込みください。

会場 滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール 小ホール

大津市打出浜15-1

京阪電車石山坂本線「石場駅」から徒歩約3分

主催 文化・経済フォーラム滋賀

問い合わせ 文化・経済フォーラム滋賀事務局
(公益財団法人びわ湖芸術文化財団 法人本部 地域創造部内)
〒520-0806 大津市打出浜15-1 びわ湖ホール内

【電話】077-523-7146



文化で滋賀を元気に!

*ホール公演では、補聴器等を使用されている方の聞こえを支援する設備が利用できます。テレコイル機能のついた補聴器や人工内耳を使用されている方は、テレコイルモードに切り替えてお聞きいただけます。

参加のお申し込みは裏面をご覧ください。



【駐車場のご案内】詳細はびわ湖ホールのホームページにて

講演会 【講師】 バイマーヤンジンさん

チベット出身。歌手。中国国立四川音楽大学卒業後、同大学専任講師に就任。

1994年来日後、日本でただ1人のチベット人歌手として、故郷の音楽や文化を紹介するため、全国各地で講演会、コンサートを行う。ユーモアたっぷりの語り口で、日本とチベットの文化の違い、家族のあり方など心を潤す独自の講演は多くの人々の感動と共感を呼び、テレビ、ラジオ等でも度々紹介され、「徹子の部屋」にも出演。「テレビ寺子屋」レギュラー講師、毎日放送「ミント!」ではコメンテーターも務める。チベットの学校建設活動も大きな成果をあげ、9つの小学校と1つの中学校が開校、経済的に苦しい大学生への奨学金支援も20年以上続けている。大阪市より「きらめき賞」、新潟県長岡市より「米百俵賞」を受賞。



演奏会 びわ湖ホール声楽アンサンブル BIWAKO HALL Vocal Ensemble

全国から厳しいオーディションを経て選ばれた声楽家により構成される日本初の公共ホール専属声楽家集団。ソリストとしての高水準の実力だけでなく、アンサンブル、合唱の中核となり得る優れた声楽アンサンブルとしても各方面から注目を集めている。

びわ湖ホール独自の創造活動の核として、びわ湖ホール開館の年の1998年3月に設立して以来、自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演や定期公演を行うほか、依頼を受けて全国各地でも多数の公演を行う。また、滋賀県内の学校を対象とした公演を行うなど、音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。過去に籍したメンバーは総勢75名を超え、活動期間を終了した後は「ソロ登録メンバー」として、数多くのコンサートやオペラに出演するなど幅広く活躍。2013年第26回大津市文化賞、2017年第42回滋賀県文化賞受賞。



出演：山田知加(ソプラノ)、山際きみ佳(メゾソプラノ)、蔦谷明夫(テノール)、内山建人(バス・バリトン)、小林千夏(ピアノ)

参加方法

どなたでも参加いただけます(16:50からの総会を除く)。

参加をご希望の方は、ウェブサイト(右の2次元コードを読み取るか、「文化・経済フォーラム滋賀」で検索)からお申し込みください。

申込期限

前日までにお申し込みください。先着順

第15回

文化・経済フォーラム滋賀 総会・講演会

文化・経済フォーラム滋賀は、「文化力」を地域活性化のキーワードに、文化、産業、学術、行政、マスコミなど分野の枠を超えて人々の交流を進めようと、2011年発足。毎年総会に併せて、県民の皆さんにぜひお話を聴いていただきたい講師を招いた講演会や、文化活動を通して滋賀を明るく元気にしている個人・団体への賞の授与、会員による「文化で滋賀を元気にする提言発表」を行い、皆さんと一緒に滋賀の未来を考える機会としています。

プログラム

14:00 会場：小ホール（地下1階）

- びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会
- 「2024文化で滋賀を元気に！賞」表彰式
- バイマーヤンジンさん 講演会
- 文化で滋賀を元気にする提言発表

16:50 会場：研修室（3階）

第15回 文化・経済フォーラム滋賀 総会
(会員対象)

ウェブサイト

文化・経済フォーラム滋賀



問い合わせ・申込先

文化・経済フォーラム滋賀事務局

(公益財団法人びわ湖芸術文化財団 法人本部 地域創造部内)

電話 077-523-7146 FAX 077-523-7147

ウェブサイト <https://biwako-arts.or.jp/rd/bunkakeizai>

メール bunka-keizai@biwako-arts.or.jp

文化・経済フォーラム滋賀 会員募集中

「文化・経済フォーラム滋賀」は、会員の皆様のネットワークを生かして、講演会や「文化経済サロン」「文化ビジネス塾」といったセミナーやシンポジウムを開催するほか、文化で滋賀を元気にしている活動を表彰する「文化で滋賀を元気に！賞」の授与などの活動を行っています。活動へのご支援、ご協力いただける方のご入会をお待ちしております。年会費は、個人・文化団体会員 一口 5,000円、企業・法人会員 一口 20,000円です。どなたでもご入会いただけます。

入会のお申し込みは、文化・経済フォーラム滋賀事務局にご連絡ください。



アートと地域のための
スモールトーク・プロジェクト

まちで、

自由にオドルには!?

アートで大津の日常を彩る



2025.3.20 木・祝 9:30-12:00

会場：旧大津公会堂 2階 多目的室 / 20名程度 / 要申込 / 参加無料

第1部 ゲストトーク 「アートと文化と地域」

ゲスト：若林かをり（フルート奏者）、ギャラリーQ、石川亮（成安造形大学 准教授）
司会：金度源（立命館大学 准教授）

第2部 ワークショップ 「アートで日常を彩るには」

参加者がグループに分かれ、アートを日常的に触れる方法を考えます。
ファシリテーター：池田佳穂（インディペンデント・キュレーター）

お申し込み：右記のQRからフォームの登録をお願いします。

主催・お問合せ：(公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 TEL 077-523-7146

協力：旧大津公会堂 指定管理者 NPO法人ブラフアート

